



Ampita

多用途安否確認システム Ampita

制作・著作 Ampita Project (代表 西 謙一)

紹介サイト <https://www.ampita.jp>

| | |
|------|---|
| 名 称 | Ampita (アンピタ) |
| 機能要約 | 安否確認、出欠/健康観察報告、聴衆応答(ARS: Audience Response System)、ウェブページ生成 |
| 取扱種別 | 無償ソフト (フリーウェア・ポータブルアプリケーション) |
| 機能制限 | 一覧表に表示できる件数の上限設定、自動受信機能の無効化 |
| 動作環境 | Windows OS 全般 (情報登録はウェブブラウザ使用のためマルチデバイス対応) |
| 連絡先 | info@ampita.jp |

■インストール方法

1. Ampita の配布パッケージ(フォルダ)を丸ごとパソコンやUSB フラッシュメモリにコピー
2. Ampita.exe をダブルクリックして起動

*. インストーラーなどはないポータブルアプリケーションです。直接起動してください。

■アンインストール方法

1. インストール時に保存されたフォルダを丸ごと削除

■詳細情報

Ampita オンラインマニュアル (<https://www.ampita.jp>)

■Ampita の仕組み

安否情報の登録はウェブサーバに用意した入力フォームを使います。入力フォームは Ampita が自動生成しますので、ウェブサーバに転送するだけの専門知識不要の仕様になっています。

入力フォームで登録された情報は定型メールとしてメールサーバに集まります。メールアドレスが必要になります。Ampita に登録される機密情報はメールアドレスのみです。この情報は暗号化されます。

任意で LINE のグループにメッセージを送信できます。この場合、LINE のトークンが必要になります。

■動作確認

パソコンは 2022 年 12 月まで Windows10 搭載機、以降は Windows11 搭載機で試験を実施しています。

ウェブサーバとメールサーバは『さくらのレンタルサーバ』のスタンダードとビジネスを利用しています。

非常時を想定した試験として通信速度 200bps、一斉に 3,000 通のメールを送信し、続いて受信する試験を複数回実施しています。テスト用の架空人物名簿生成や架空メール送信機能も Ampita に搭載しています。

■ライセンス登録(ライセンスキーをお持ちの場合)

メイン画面左上のメニューからライセンス機能を実行してライセンスキーを登録できます。

■リンク集



Vector (Ampita Download)



ソフト関連情報 (ampita.jp)



営業系 (24med365.net)

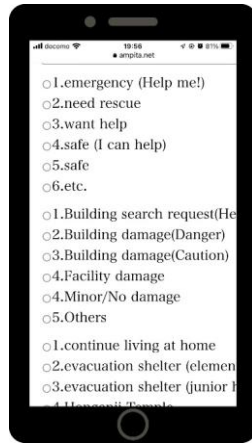


さくらのレンタルサーバ

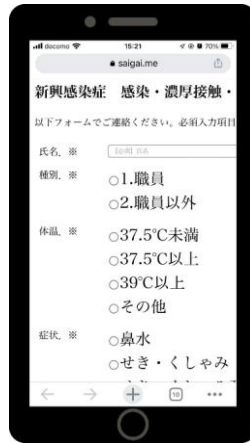
Ampita が始動した 2013 年当時は透析患者の安否確認のために、携帯電話非保有者でも使える物を考えました。SNS が発達した現在はメールアドレスを常用しない人も多いため、今の Ampita の仕組みに変えました。お気づきの点がございましたらお気軽にお寄せ下さい。



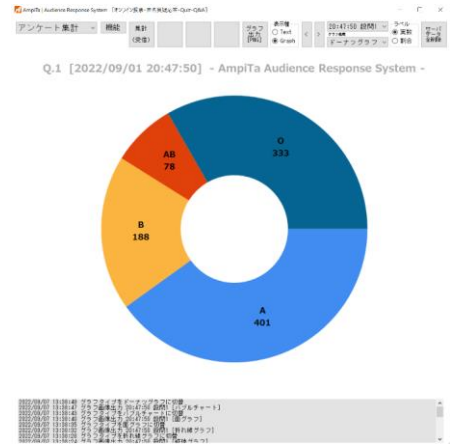
安否確認 (氏名と安否)



英語表記の安否連絡画面



従業員健康観察への応用



ARS機能での集計 (グラフ表示)

■初期設定 (メールアカウント)

1. AmpiTā を起動し、アカウント設定画面を開く
2. 受信用メールアカウントを設定する

*. メールサーバをデータベースとして使用するため受信用アカウントは必須です。送信設定なども併せて実施することをお勧めします。

■集計 (安否等情報管理)

1. AmpiTā を起動すると開くメイン画面で『更新』ボタンを押すとメールサーバからデータをダウンロード
2. 一覧表に分類項目別にリストアップ

■出力

1. メイン画面左上のメニューから出力を選択し実行すると一覧表がファイルとして出力

*. ファイル形式は Microsoft Excel で扱える CSV とウェブブラウザで閲覧可能な HTML を選択可能

■入力 (安否報告等)

1. ウェブブラウザを開き、所定の報告画面から必要事項を入力して送信

■入力用ウェブページ自動生成 (ノーコード開発)

1. AmpiTā を起動しウェブページ自動生成画面を開く
2. 報告を求める項目や内容を決定し出力する

*. PHP ファイルと関連するフォルダやファイルが自動生成され1つのフォルダにまとめて出力(これらをアップロードして下さい。)

■入力用ウェブページアップロード

1. レンタルサーバ等のウェブファイルを置くディレクトリに自動生成したファイル群を保管
2. 上記に紐づく URL を使いウェブブラウザで動作確認

*. 必要に応じて従業者様等へ URL をご案内ください

■ARS: Audience Response System

1. AmpiTā を起動し ARS 操作画面を開く
2. アンケート等を実施しメールサーバに回答が貯まっている状態で集計を実行
3. 数値 (テキスト) データとグラフデータが表示される (テキストとグラフは選択制)

*. 集計後に無用なデータをメールサーバから削除する機能を備えていますが、非常時の安否確認では削除する事に潜むリスクの評価が困難であるため、非常時には削除機能を使用しないでください。試用版は一部機能制限を行っています。

■架空人物からの架空データ送信

1. 架空人物名簿作成機能を使い、任意の人数の架空人物を生成
2. 既定書式で報告を実施する機能を実施 (データベースであるメールサーバに架空人物が架空の報告)